

錦江に生きる

よにん目

入船 いりふね

竜也 たつや

さん(旭町自治会)



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくと頑張っている若者を中心に紹介していきます。
第4回目は、旭町自治会の入船竜也さんです。

仕事をしてる写真を撮りたかったのですが...



▶ 黙々と素振りを繰り返す竜也さん



「かつこよく撮ってもらえますか」「もちろん、一番頑張っていてかつこいい瞬間を撮らせてもらいます。希望も聞きますよ」取材のアポイントをとった時に、前述の会話が交わされた。

取材当日、野球のユニフォーム姿で現れたのは、神川地区に工場を構え、親子三代で刃物・自動車部品の製作所を営む入船竜也さん23歳。

初代の祖父・五男さんは鍛冶職人、父・勝範さんの代で、鍛冶から部品製作に移行し、竜也さんは兄二人と部品作りに励んでいる。

「高校卒業後、すぐに仕事を始め、今では仕事も覚えたが、祖父や父はもちろん、兄にもまだ追いつけない。早く追いつきたい」と、必死に頑張っている。

将来は、もつと技術を身に付けて、本業はもちろん鍛冶の技術も受け継いでいきたいと話す。

趣味はもちろん野球、現在は町内のチームで活躍し4月には鹿屋支部代表として県大会にも出場した。仕事が忙しい時期は、野球は出来ないが、ずっと野球だけは続けていきたいと言う。

また、これからは自分たちの世代も地域に貢献出来るように仲間たちと頑張りたいと言う。

別れ際に、こんな会話が：

「どこかに野球好きな女性いないですかねえ」「野球好きな彼女が欲しいの?」「いや、野球好きじゃなくてもかまいません。彼女が欲しいです。」只今恋人募集中

錦江町

おもいで写真館

▶ 大正12年の大根占港



昔の風景



▲昭和47年神川大滝

写真のご協力をお願いします

「錦江町思い出写真館」に掲載する写真を募集します。(特に田代地区)
撮影時期・場所・状況等を付けて、役場企画課へ持ち込むか郵送ください。
お借りした写真は責任を持ってお返しします。